

わしょう瓦版

佐世保特別支援学校
肢体不自由教育部門
(わかくす小学部)

第9話(2月28日号)

わかくす小学部の児童9名が、2月21日に「あたご市(いち)」に行きました。毎年2月下旬に開催されるあたご市は、別名「相浦植木市」とも呼ばれ、季節的に植木の時期であったことから、植木の市が立つようになったと伝えられています。慶長年間に始まった東漸寺旧記に書かれている400年の伝統のあるお祭りです。愛宕山(別名 相浦富士・愛宕富士:標高259m)登山口を中心とした商店街に、植木、陶器、竹製品、花園芸、菓子、玩具日用品、金物などの店が出ます。子どもたちが毎年楽しみにしている行事の一つで、今年も天候に恵まれ、楽しい校外学習になりました。



たこ焼き屋さんにクレープ屋さん、くじ引き屋さんなど、多くのお店が軒を連ねていました。子どもたちの一番のお目当ては「クレープ!」イチゴ味にチョコレート味。とっても美味しくいただきました!!



毎年恒例の福袋つき「しゃもじ売り」は、しゃもじで作ったくじを引き、当たりが出ればプレゼントがあり、外れてもしゃもじが貰えます。あたご市の名物です。

